

# 災害用井戸



甲佐町災害用井戸



手押しポンプ



揚水状況



災害用井戸開水式

3月11日に発生した、東日本大震災では停電や施設の損壊等により、水供給が停止してしまいました。水は命の源です。人は水さえ確保しておけば、救援物資が届くまで何とか耐えることができます。

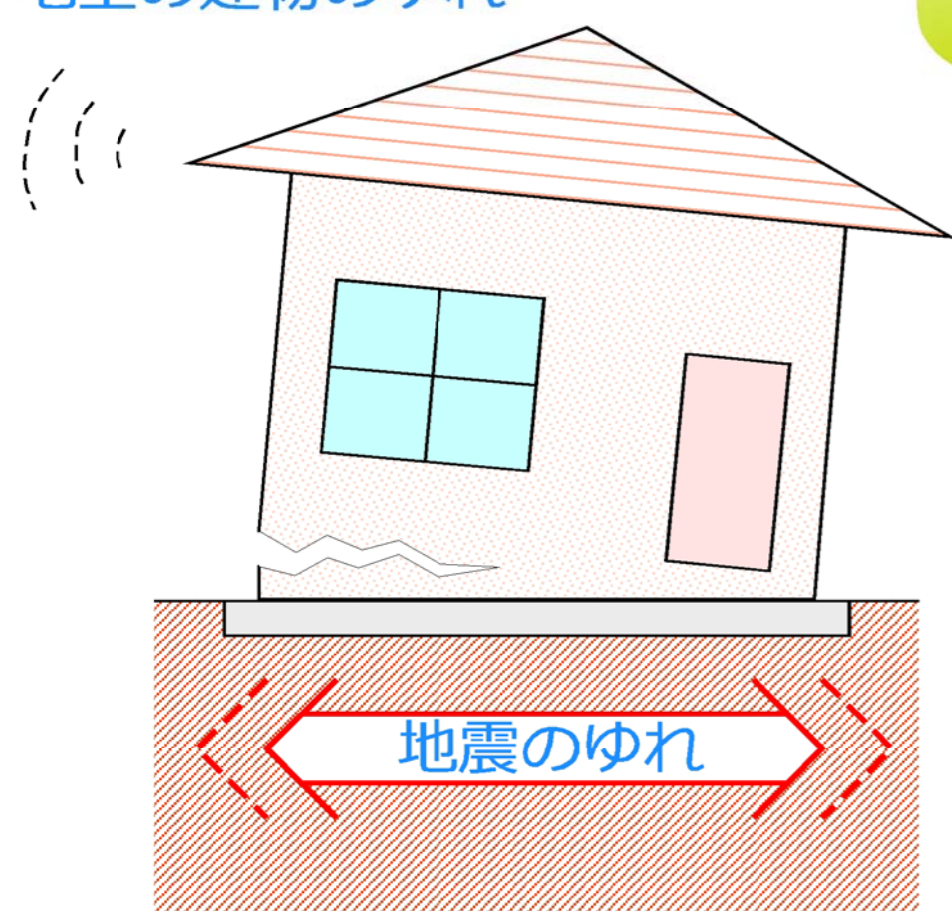
被災地に一番に届く物資は飲料水ですが、生活雑用水（トイレ・風呂・洗濯等）の確保は、インフラの復興後となり、かなり遅れることとなります。生活雑用水の不足は、衛生状態の悪化を招き、病気の蔓延を引き起こすこととなります。

今回の井戸は、停電時でも人間の力さえあれば、飲料水や生活雑

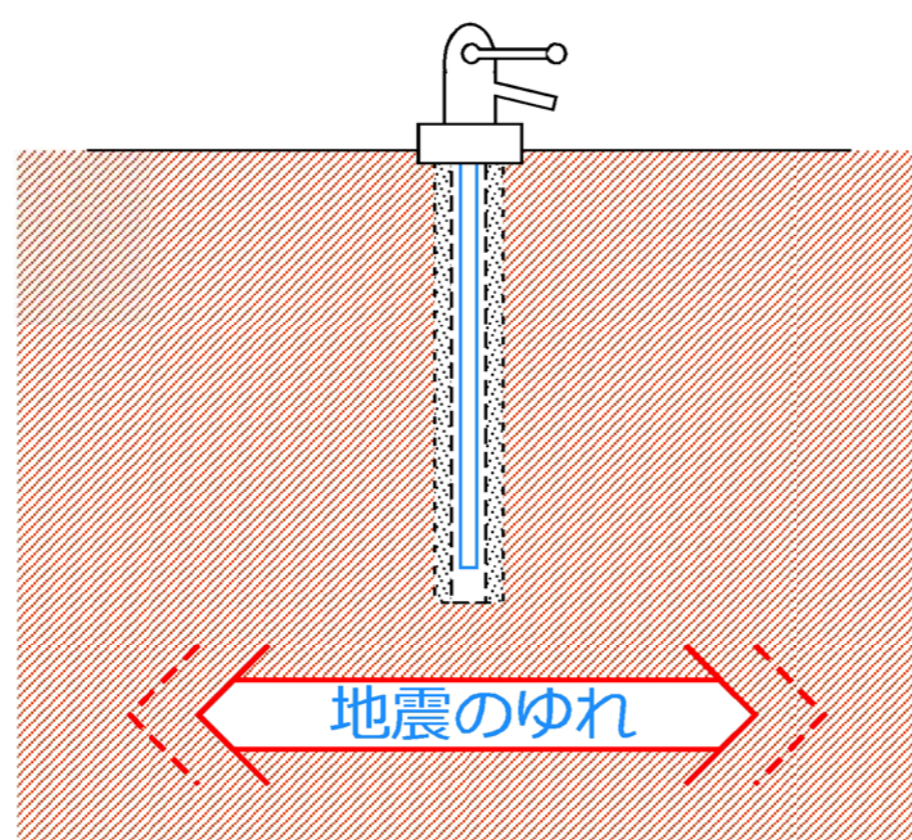
用水を確保できる手動ポンプを設置した災害用井戸です。すでに関東地方では23区、市町村それぞれで、関東直下型地震や東海地震等に備えた400箇所程度の災害用井戸が設置されています。

今回の甲佐町の災害用井戸は、九州管内の市町村においては初の試みです。水資源の豊富な熊本において、今後熊本県民の生活を守るという防災対策の大きな一歩となるでしょう。

地上の建物のゆれ



地下構造物と地震について



地震のとき、地上の建物のゆれは、地震のゆれより遅れるため、一部に引っ張りや圧縮の力が働き、壊れやすい。井戸などの地下構造物は、地震のとき地面といっしょに動くため、壊れにくい。

発注者 甲佐町

施工者 (株) 双葉工務店